

總當番



山組集会のようす(平成19年)

企画展

曳山を 支えた人たち

シリーズ

三役修業塾



三役修業塾開講初期のようす(平成2年)



平成26年3月3日(月)~4月5日(土) 会期中無休

開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)

入館料 大人600円、小中学生300円(団体20名様以上2割引) ※長浜市・米原市の小中学生は無料

主催 公益財団法人長浜曳山文化協会

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBUTSUKAN Ave.

[企画展] シリーズ

曳山を支えた人たち

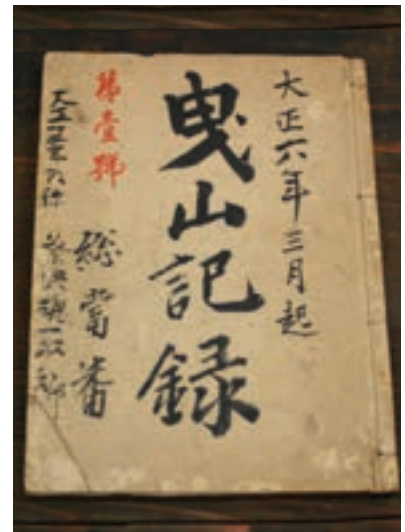
平成26年3月3日(月)～4月5日(土) 会期中無休

總當番について

「總當番」とは、長浜曳山祭の祭典執行に関する行事および事務を統括する、いわゆる事務局としての役割を持つだけでなく、祭典全般に関する権限を持つ機関である。つまり、總當番は祭りの総責任者であり、長浜曳山祭を円滑に執行するうえで欠くことのできない存在であるといえる。本展示では、その姿を祭典執行の詳細を記した「總當番記録」からリアルに紹介する。

主な出陳資料

- 祭典曳山記録 ●回章(着帳) ●祭典申合規約 ほか



曳山記録

三役修業塾について

三役とは、「振付」「太夫」「三味線」のことを指し、長浜曳山祭の子ども歌舞伎にとって欠くことのできないものである。かつての長浜周辺には、三役を務める人材が多く存在していたが、昭和40年代以降、三役のなり手の数が減少し、それ以降は担い手の高齢化も進んだ。そんな中、平成2年に開講した「三役修業塾」は、自前の三役の養成を目的に設立され、現在では毎年塾生が長浜曳山祭に出演している。本展示では、三味線や衣裳などから、これまでの三役の姿を追うとともに、三役修業塾の足跡を紹介する。

主な出陳資料 ●三味線 ●見台 ●浄瑠璃本 ほか



三味線

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBUTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

[TEL] 0749-65-3300 [FAX] 0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

入館料			
	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳の提示で本人と介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料

- 9時～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)



●JR長浜駅から徒歩6分 ●長浜ICより車で10分